

最近の日本における外国人の動向等に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2014年の在留外国人数は約500万人で、総人口の約4%を占めている。男女別に見ると、男性の方が多く、国籍・地域別に見ると、韓国・朝鮮が全体の過半数を占め、以下、中国、フィリピン、ブラジルと続いている。
2. 2014年の外国人労働者数は200万人を超え、過去最高となった。増加した要因として、単純労働分野での外国人労働者の受入れを促進する政府の取組が進んでいることや、外国人労働者を雇用した場合の届出制度が廃止されたことが考えられる。
3. 国際競争力強化の観点から、高度な技術や専門的な知識を持った外国人材の受入れが抑制されることとなった。また、不法就労・不法滞在につながらないようにする仕組みが不十分であることなどから、外国人技能実習制度の廃止が決定された。
4. 2014年の訪日外国人旅行者数は、ビザの大幅緩和や消費税免税制度拡充などにより、過去最高となり、訪日外国人旅行消費額も過去最高額となった。いずれも国籍・地域別では、中国、タイ、マレーシアなどが前年に比べ大幅に増加した。
5. 来日外国人による刑法犯の検挙件数を国籍・地域別に見ると、侵入窃盗ではブラジルが、自動車盗では中国が最も大きな比率を占めている。検挙件数に占める共犯事件の割合は日本人と比べて低く、単独で犯罪が敢行される傾向がうかがわれる。

正答 4

世界の水産業に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 世界の漁業生産量は減少傾向にあるが、養殖業生産量は年々増加している。日本でも遠洋漁業の衰退に伴い養殖業が発達し、現在は養殖業生産量が漁業生産量を上回っている。
2. 大陸棚やバンク、暖流と寒流が接する潮境は、魚類の餌となるプランクトンが多く、好漁場となる。太平洋北西部や大西洋北東部は、このような漁場として早くから開発されてきた海域である。
3. 太平洋南東部は漁獲量が最も多い海域で、アンチョビー漁が盛んである。この海域に面するペルーとチリは現在、国別の漁業生産量で世界 1 位、2 位を競っている。
4. 世界の水産物貿易は、数量・金額ともに減少傾向にある。中国では漁業生産量が減少しているため、水産物輸入が増えており、中国の輸入金額は、近年日本を抜いて国別で第 1 位となっている。
5. 水産資源の管理は国際的な課題となっている。マグロの漁獲規制は行われていないが、捕鯨は厳しく規制されており、商業捕鯨モラトリアムの下で「先住民生存捕鯨」も禁止されている。

正答 2

ある水槽を満たすのに、ポンプ A だけではちょうど 4 時間、ポンプ B だけではちょうど 6 時間かかる。この水槽に A、B 二つのポンプを使って同時に水を注ぎ始めたが、ちょうど 2 時間後に B が故障して動かなくなったため、その後は A だけで満水になるまで水を注いだ。B が故障してから水槽が満水になるまでにどれくらいかかったか。

1. 30分
2. 35分
3. 40分
4. 45分
5. 50分

正答 3